

## 競技・審判上の注意（ABC大会用）

- (1) 本大会は2023年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は全ての試合、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは男女A、Bグループの準決勝より配置し、その他の試合においては原則としてつけません。
- (3) タイムテーブルは試合の順序を示しています。試合の進行は、「流し込み」とします。アナウンスがあり次第、コーチ・選手は体育館内の所定の場所に集合して下さい。なお、試合の進行状況により、コートを変更する場合がありますのでアナウンスには十分注意して下さい。
- (4) 試合(マッチ)が連続した場合は、原則として前のマッチが終了してから15分後に、次のコールをするものとします。
- (5) 3位決定戦は行いません。
- (6) コートへの入場は、主審の先導により組み合わせ番号の若番の選手から行き、退場は主審の誘導により勝者から行います。
- (7) Cグループは15点3ゲーム（ファイナルゲームは8点でチェンジエنز）マッチで行います。スコアが14点オールになった場合、どちらかの選手が2点リードするか、その後20点オールに達したら21点目を得点した選手を勝者とします。
- (8) すべてのゲーム中に、一方の選手のスコアが11点（Cグループでは8点）に達した時に、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲーム、第2ゲームと第3ゲームの間では、120秒を超えないインターバルをとることができます。その際、主審が「(コート番号) 20秒」とコールをしたら、すみやかにコート内に入ってください。また、アドバイスなどで、コートに入れるのは同時に2名までであるが、主審の「(コート番号) 20秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れて下さい。
- (9) 選手はマッチ中、所定のインターバル以外に、インプレーでないときに限り、アドバイスを受けられますが、試合進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
- (10) 各エンドにあるコーチ席（2席）に着席の際には、必ずIDカードを身につけてください。許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ（試合）中は、立ち上がったたり、コートのそばに立ったりしてはいけません。また、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。また、インプレー中に声を出したり、ジェスチャーをしたり等の行為をしないで下さい。うちわを叩いたりする行為も禁じます。
- (11) 競技フロア内での携帯電話などの使用は一切認めません。また、モバイル機器（携帯電話ipadなど）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁じます。
- (12) コーチ席での服装等は、公認審判員規程第5条第12項（8）に準じ、「チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショート、スリッパとサンダルは禁止とする」、ただし、ハーフパンツや7分丈は公認であっても禁止とします。競技フロアでは必ず体育館シューズを履いて下さい。
- (13) 選手はいかなることがあっても、体力の回復を図るためにプレーを中断してはいけません。汗ふきや靴ひもをしめなおすなどのため、進行を妨げない限りでプレーを中断する時は、必ず主審の許可を得てからすみやかに行ってください。
- (14) マッチ中の水分補給は、インターバルの間を除き、主審の許可が出た場合に認めます。なお、使用する容器は、フタやキャップが付いている水分のこぼれないものを使い、各自バッグに収納し指定されたコート横にバッグを置いてください。

- (15) 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバック）に入れ、コーチ席で保管して下さい。なお状況により、コーチ席に人が着くことができない場合には主審に申し出て下さい。
- (16) マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入れるのは、レフェリーが必要と認めた医療関係者等に限りです。
- (17) 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該選手に限り、主審に質問ができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
- (18) マッチ中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、選手は、ウェア背面上部に、「都道府県名、氏名」が明記されているものを必ず着用してください。なお、ゼッケンは本人確認がしっかりできるようにするため、必ず4カ所留めにしてください。チーム名やマークについては、大会運営規定第24条を適用し、日本小学生バドミントン連盟「ユニフォーム広告に係る広告（ロゴ）スポンサー名等について（令和3年12月26日）」によるものとする。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れて下さい。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れて下さい。
- (19) マッチ前の公式練習はありませんが、審判の準備が整うまでのウォーミングアップを認めます。
- (20) 選手同士や主審等との握手は行いません。
- (21) 線審が明らかに間違った判定をしたと主審が判断したら、主審は判定を訂正することができます。
- (22) 観覧席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナーに反する行為を禁止します。

## 一般注意事項

- (1) 体育館内は観覧席を含め全てが土足禁止です。必ず上履きに履き替えてください。
- (2) 観覧席は地区ブロックごとに場所を指定(表示)してありますので、マナーを守ってご利用ください。  
なお、盗難事故が多発しております。各自、貴重品等の管理をお願いします。
- (3) ゴミは各自持ち帰るようにお願いします。
- (4) 館内での大声での会話・応援は自粛してください。(拍手で応援)
- (4) 2階観覧席の最前列は応援席としますので、荷物は置かないようにお願いします。

## 《熱中症予防に関して》

- (1) 競技中の水分補給は両会場とも随時認めます。(ただし主審の許可を得た時に限ります。)  
審判員・競技役員にも徹底させます。
- (2) 高松市総合体育館及び高松市香川総合体育館においては館内の湿度・温度を常に監視して空調（冷房）を実施または換気を行います。ロビーは空調を完備しているので、館内の状況を常に把握してロビーでの換気等呼びかけます。
- (3) 看護師を高松市総合体育館及び高松市香川総合体育館に各1名常時駐在させます。